



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月29日

上場会社名 名工建設株式会社

上場取引所 名

コード番号 1869 URL <http://www.meikokensetsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 佐藤 武男

TEL 052-589-1504

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	62,991	2.2	3,985	37.1	4,221	34.2	3,076	39.5
29年3月期第3四半期	61,631	0.1	2,907	14.1	3,145	12.8	2,205	8.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,889百万円 (129.0%) 29年3月期第3四半期 2,134百万円 (14.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	121.88	
29年3月期第3四半期	87.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	91,335	43,445	47.4	1,713.52
29年3月期	77,329	38,910	50.1	1,534.55

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 43,256百万円 29年3月期 38,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00		7.00	14.00
30年3月期		7.00			
30年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,500	0.7	4,800	1.1	5,000	1.9	3,700	6.9	146.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	27,060,000 株	29年3月期	27,060,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	1,815,749 株	29年3月期	1,815,467 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	25,244,347 株	29年3月期3Q	25,244,789 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【参考】個別業績の概要

(1) 平成30年3月期第3四半期の個別業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

a. 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	61,444	1.6	3,930	36.2	4,171	33.0	3,149	42.9
29年3月期第3四半期	60,467	△0.1	2,886	△14.2	3,135	△12.6	2,203	△7.7

	1株当たり 四半期純利益
	円 銭
30年3月期第3四半期	124.76
29年3月期第3四半期	87.28

b. 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	90,298		42,750			47.3
29年3月期	76,056		38,233			50.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 42,750百万円 29年3月期 38,233百万円

(注) 上記個別業績は、四半期財務諸表規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 平成30年3月期の個別業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,000	0.4	4,750	1.4	4,950	0.1	3,700	9.5	146.57

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

個別業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10
4. 補足情報	
(1) 部門別受注高比較表(連結)	11
(2) 部門別売上高比較表(連結)	11
(3) 部門別繰越高比較表(連結)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景として設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし世界経済においては、景気は緩やかに回復していますが、米国の政治的な混乱や東アジアにおける地政学リスクなど依然として先行きは不透明な状況となっております。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しているものの、受注物件の獲得競争は激化しているのに加えて住宅投資は弱含みの動きとなっており、厳しい受注環境が続いております。

このような情勢下、当社グループは、安全と品質確保並びに技術力の向上を重点に事業活動を積極的に進めました結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は62,991百万円（前年同期比 1,360百万円増加）となりました。利益におきましては、営業利益が3,985百万円（前年同期比1,078百万円増加）、経常利益は4,221百万円（前年同期比1,075百万円増加）で親会社株主に帰属する四半期純利益は3,076百万円（前年同期比 871百万円増加）となりました。

なお、当社グループの主たる事業であります建設事業は、工事の完成引渡しは下半期、特に第4四半期に偏るといった季節的変動要因があります。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(建設事業)

当第3四半期連結累計期間については、完成工事高は前年同期比1,456百万円（2.3%）増加の63,570百万円となったことなどに伴い、セグメント利益も前年同期比1,201百万円（19.2%）増加の7,449百万円となりました。

(不動産事業等)

当第3四半期連結累計期間については、兼業事業売上高が前年同期比95百万円（10.8%）減少の786百万円となりましたが、セグメント利益は前年同期比100百万円増加の69百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ現金預金が1,585百万円減少しましたが、受取手形・完成工事未収入金等で6,952百万円、未成工事支出金で2,871百万円、投資有価証券で2,494百万円、電子記録債権で645百万円の増加などがあり、総額では14,005百万円増加して91,335百万円となりました。

負債につきましては、支払手形・工事未払金等が1,415百万円、賞与引当金が1,916百万円減少しましたが、短期借入金で9,143百万円、繰延税金負債で791百万円の増加などがあり、総額では9,471百万円増加の47,890百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が2,723百万円、その他有価証券評価差額金が1,731百万円増加したことなどにより、4,534百万円増加の 43,445百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今年度通期の売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の連結業績予想については、本日（平成30年1月29日）に公表しました通りであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,656	9,071
受取手形・完成工事未収入金等	32,547	39,500
電子記録債権	380	1,025
未成工事支出金	440	3,312
その他のたな卸資産	389	298
繰延税金資産	870	842
その他	1,821	4,667
貸倒引当金	△18	△22
流動資産合計	47,087	58,696
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	8,002	7,756
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	597	711
土地	4,016	3,896
建設仮勘定	11	-
有形固定資産合計	12,627	12,364
無形固定資産		
ソフトウェア	458	513
その他	26	25
無形固定資産合計	484	538
投資その他の資産		
投資有価証券	16,773	19,268
その他	388	494
貸倒引当金	△32	△26
投資その他の資産合計	17,130	19,735
固定資産合計	30,242	32,639
資産合計	77,329	91,335

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	11,175	9,760
電子記録債務	7,587	6,972
短期借入金	236	9,380
未払法人税等	659	720
未成工事受入金	1,416	2,140
完成工事補償引当金	54	54
工事損失引当金	46	8
賞与引当金	2,398	481
役員賞与引当金	69	15
その他	5,573	8,103
流動負債合計	29,217	37,636
固定負債		
社債	1,200	1,200
長期借入金	2,800	2,800
繰延税金負債	2,854	3,646
退職給付に係る負債	1,799	1,949
その他	548	658
固定負債合計	9,202	10,254
負債合計	38,419	47,890
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,594	1,594
資本剰余金	1,823	1,823
利益剰余金	29,510	32,233
自己株式	△948	△948
株主資本合計	31,979	34,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,173	8,905
退職給付に係る調整累計額	△414	△351
その他の包括利益累計額合計	6,759	8,553
非支配株主持分	171	188
純資産合計	38,910	43,445
負債純資産合計	77,329	91,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	61,631	62,991
売上原価	55,398	55,466
売上総利益	6,233	7,525
販売費及び一般管理費	3,326	3,539
営業利益	2,907	3,985
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	195	210
受取地代家賃	49	50
その他	41	21
営業外収益合計	287	282
営業外費用		
支払利息	44	42
その他	5	4
営業外費用合計	49	47
経常利益	3,145	4,221
特別利益		
固定資産売却益	2	164
投資有価証券売却益	-	229
受取保険金	109	-
その他	2	-
特別利益合計	114	394
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	5	9
会員権退会損	2	-
その他	1	0
特別損失合計	9	9
税金等調整前四半期純利益	3,249	4,606
法人税等	1,040	1,512
四半期純利益	2,209	3,094
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,205	3,076

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	2,209	3,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162	1,732
退職給付に係る調整額	87	62
その他の包括利益合計	△75	1,795
四半期包括利益	2,134	4,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,129	4,871
非支配株主に係る四半期包括利益	5	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の算定については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	建設事業	不動産事業等	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,807	824	61,631	—	61,631
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,307	57	1,364	△1,364	—
計	62,114	882	62,996	△1,364	61,631
セグメント利益又は損失 (△)	6,247	△30	6,216	△3,309	2,907

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,309百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,326百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	建設事業	不動産事業等	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	62,251	740	62,991	-	62,991
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,319	46	1,365	△1,365	-
計	63,570	786	64,357	△1,365	62,991
セグメント利益	7,449	69	7,518	△3,532	3,985

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,532百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,539百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません

4. 補足情報

(1) 部門別受注高比較表 (連結)

(単位 百万円)

区分	平成29年3月期		平成30年3月期		比較増減	増減率
	第3四半期	構成比	第3四半期	構成比		
土木	36,500	67.5	38,694	72.2	2,194	6.0
建築	17,558	32.5	14,910	27.8	△2,647	△15.1
計	54,058	100.0	53,605	100.0	△452	△0.8
官公庁	8,660	16.0	8,774	16.4	114	1.3
民間	45,397	84.0	44,830	83.6	△567	△1.2
計	54,058	100.0	53,605	100.0	△452	△0.8

(2) 部門別売上高比較表 (連結)

(単位 百万円)

区分	平成29年3月期		平成30年3月期		比較増減	増減率
	第3四半期	構成比	第3四半期	構成比		
完成工事高		%		%		%
土木	39,651	65.2	40,348	64.8	697	1.8
建築	21,156	34.8	21,902	35.2	746	3.5
計	60,807	100.0	62,251	100.0	1,443	2.4
官公庁	13,870	22.8	12,303	19.8	△1,566	△11.3
民間	46,936	77.2	49,947	80.2	3,010	6.4
計	60,807	100.0	62,251	100.0	1,443	2.4
兼業事業売上高	824	—	740	—	△83	△10.2
総売上高	61,631	—	62,991	—	1,360	2.2

(3) 部門別繰越高比較表 (連結)

(単位 百万円)

区分	平成29年3月期		平成30年3月期		比較増減	増減率
	第3四半期	構成比	第3四半期	構成比		
土木	51,265	71.1	55,802	78.0	4,536	8.8
建築	20,817	28.9	15,773	22.0	△5,044	△24.2
計	72,083	100.0	71,575	100.0	△507	△0.7
官公庁	19,252	26.7	23,130	32.3	3,877	20.1
民間	52,830	73.3	48,445	67.7	△4,385	△8.3
計	72,083	100.0	71,575	100.0	△507	△0.7